

課題研究成果発表会(2年生)

* ステージ発表 *

1



パワーダンス実現への一歩

2



音を耳以外で感じる方法



倍数判定法の研究



ミルワームの巨大化と
酸素濃度の関係性について



酸素と紫外線による
ビタミンCの濃度変化

この1年間で、自分達で工夫して実験を行い、改善すべきところがあればどのようなことを行えばよいのかなどを考えることで、思考力や判断力を身につけることができました。大量のデータの処理や実験の失敗などを積み重ねることで、目的に向かって継続することの大切さや面白さを見つけることができたと思う。今後、自分が取り組みたいことができた時、今回身につけた様々な経験を活かして努力し続けたいと思う。

2年 向井 陽大(永犬丸中学校)

中3の受験期からずっと憧れていた課題研究を実際にやってみて、実験の難しさや楽しさを痛感しました。自分が気になっていることを自分の手で実験できるのは、本当に楽しかったです。研究を重ねるうちに、私は研究が好きで、また色々なことについて研究したいと思うようになりました。課題研究を通して私は将来、誰かのためになる薬などを作りたいと思うようになり、将来の夢が明確になりました。本当に課題研究を体験できて良かったです。

2年 中村 美悠(水巻南中学校)

これまで、何かについて探究することはあっても、1年間かけて1つのものについて研究することはなかったので、体験できてとても有意義なものとなった。今回は筋電位というテーマについて研究したが、最初はほとんど知識のないところから実験と失敗を繰り返し、知見を深めると一気に研究が進んだことから、研究には下積みが大切だと分かった。また研究では、どれだけ研究しても内容が伝わらなければ意味がなく、上手く人に伝える方法も学ぶことができた。ここで得た学びを今後の大学、社会での生活において活かしていきたい。

2年 山本 蒼也(水巻南中学校)

1年間研究を続けて、途中苦しい時期はあったけれど、みんなで協力してなんとかやりとげられたので嬉しかったです。大学に行ったら研究をする機会があると思うので、課題研究で学んだ事を活かして頑張りたいと思う。

2年 大高 隼翔(柳西中学校)

途中で実験を続けるのがキツイと感じたこともあったが、データをとり続けた結果、なんとか発表できる程度のデータを得られ、継続することの大切さを学んだ。私はリーダーだったので、研究の中で何度も判断を任されたり、班の人への仕事の割りふりをしたい責任を感じる場面も多く、精神的にも成長できたと思う。発表での質疑の予想をして研究を見直していると、研究をこうすればよかった、ここは違和感がある気がするなどの改善点を見つけたので、大学での研究では、そういったことのないよう、この経験を活かして頑張りたい。

2年 山田 理乃(槻田中学校)

私は課題研究で、深く物事を調べる重要さ、周りの人と意見を交換し、尊重しあうことの大切さなど、様々なことを学ぶことができました。これから先、また研究発表をする機会があれば、今回の経験を活かして頑張りたいと思います。

2年 大脇 光希(沖田中学校)